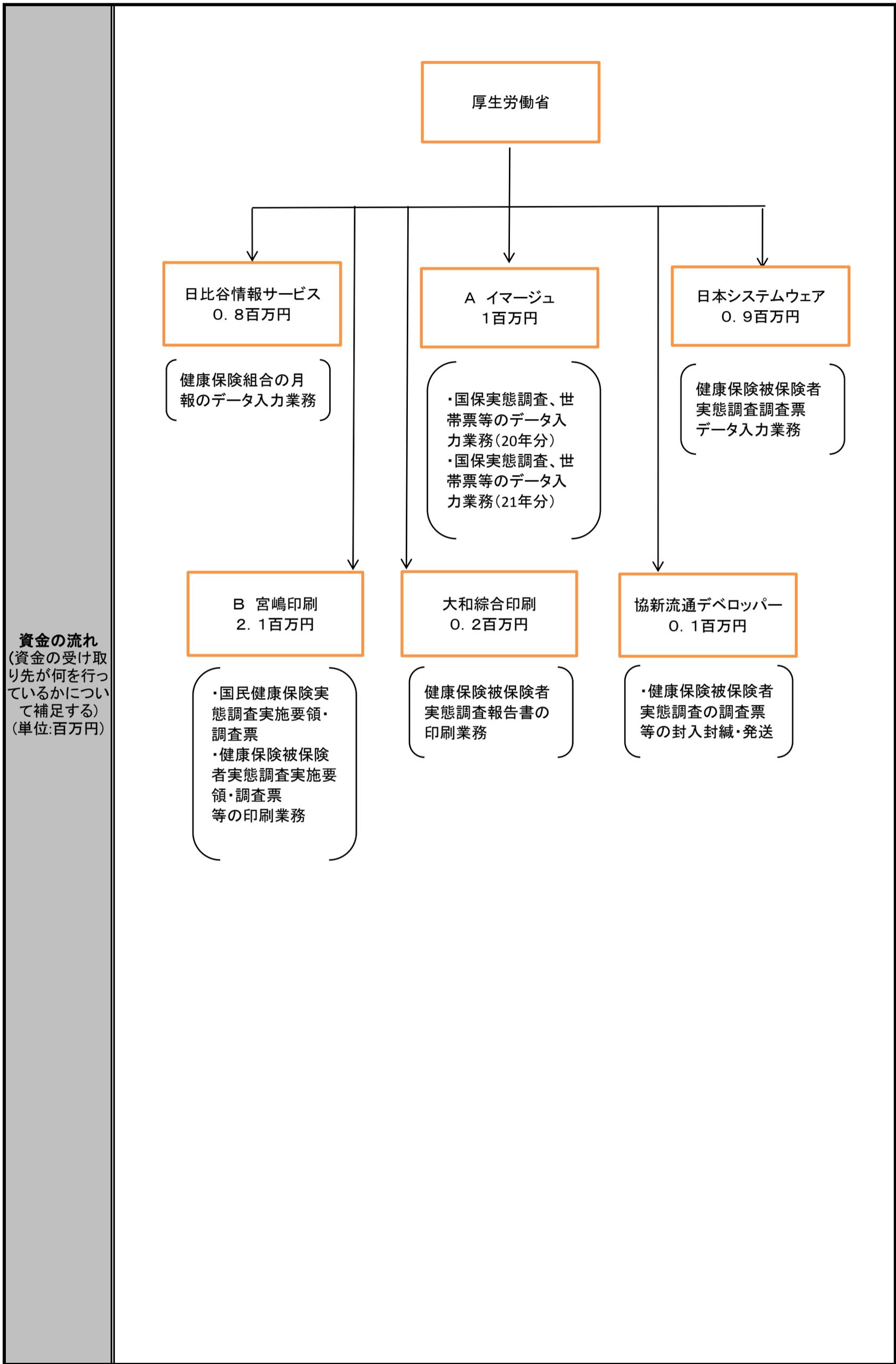


行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	医療保険実態調査費	事業開始年度	-			作成責任者
担当部局庁	保険局	担当課室	調査課			村山 令二
会計区分	一般会計	上位政策	医療保険制度の推進に必要な経費			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	国民健康保険法第106条、 高齢者の医療の確保に関する法律第16条及び 第134条 他	関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	各制度の実態調査報告書の作成・公表のため。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	医療保険制度を円滑に運営するため、各制度の年齢構成や保険料賦課状況等を把握し、実態調査報告書についてとりまとめ公表する。					
実施状況	健康保険・船員保険被保険者実態調査、国民健康保険実態調査、後期高齢者医療被保険者実態調査及び医療給付実態調査をとりまとめ公表している。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	10.6	8.2	6.2	4.5	3.9
	執行額	8.7	5.0	5.2		
	執行率	82.0%	71.0%	90.0%		
	総事業費(執行ベース)	8.7	5.0	5.2		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	<ul style="list-style-type: none"> ・健康保険・船員保険被保険者実態調査 ・国民健康保険実態調査 ・後期高齢者医療被保険者実態調査 ・医療給付実態調査 等について公表し、各制度の運営及び制度改正等の資料としてきた。 今後も、精度の高い調査・分析を行い、各制度の運営及び制度改正等の資料として活用していく必要があることから、当該事業における経費は必要である。				
	見直しの余地	これまで各種報告書等の配布先、配布部数を見直し、作成部数を減じて費用の精査を行っており、引き続き精査したい。				
予算チームの監視・効率化	一部改善(執行状況を予算要求に反映) 平成22年度において執行状況を踏まえた見直しを行っているが、引き続き効率化に努めるべき。					
補記						



資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位:百万円)

厚生労働省

日比谷情報サービス
0.8百万円

健康保険組合の月報のデータ入力業務

A イマージュ
1百万円

・国保実態調査、世帯票等のデータ入力業務(20年分)
・国保実態調査、世帯票等のデータ入力業務(21年分)

日本システムウェア
0.9百万円

健康保険被保険者実態調査調査票データ入力業務

B 宮嶋印刷
2.1百万円

・国民健康保険実態調査実施要領・調査票
・健康保険被保険者実態調査実施要領・調査票等の印刷業務

大和総合印刷
0.2百万円

健康保険被保険者実態調査報告書の印刷業務

協新流通デベロッパー
0.1百万円

・健康保険被保険者実態調査の調査票等の封入封緘・発送

A.イマージュ			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	国保実態調査、世帯票等のデータ入力業務(20年分)	0.8			
雑役務費	国保実態調査、世帯票等のデータ入力業務(21年分)	0.2			
計		1	計		0
B.宮嶋印刷			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
印刷製本費	国民健康保険実態調査実施要領・調査票	0.2			
印刷製本費	健康保険被保険者実態調査実施要領・調査票	0.3			
印刷製本費	国民健康保険実態調査報告書	0.9			
印刷製本費	後期高齢者医療被保険者実態調査報告書	0.7			
計		2.1	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0.0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)